

目 次

- 1 米国の臨界前核実験実施に対する抗議及び核兵器廃絶に向けた要請文 2
- 2 中華人民共和国訪問について 2

1 米国の臨界前核実験実施に対する抗議及び核兵器廃絶に向けた要請文

報 告 書

アメリカ合衆国が平成29年12月に、臨界前核実験を実施していたことに対して、駐日アメリカ合衆国大使館のウィリアム・F・ハガティ特命全権大使あてに抗議・要請文を送付し、本国に伝達されることを依頼したので、報告する。

平成30年10月11日

議 長 溝 口 芙 美 雄

(抗議・要請文主旨)

長崎県議会は、これまでも貴国に対し、核兵器の維持存続や開発につながる一切の核実験の中止を繰り返し要請してきたところであるにもかかわらず、再びこのような臨界前核実験を実施されたことは極めて遺憾であり、強く抗議する。

ここに原子爆弾被爆地の県議会として、世界の恒久平和の実現を目指し、一日も早い核兵器の廃絶を進めるため、貴国が核兵器の維持存続や開発につながるすべての核実験を中止し、包括的核実験禁止条約(CTBT)を早期に批准するとともに、さらなる核軍縮に取り組まれ、「核兵器のない世界」を実現することを強く要請する。

2 中華人民共和国訪問について

報 告 書

中華人民共和国北京市を訪問したので、その概要を下記のとおり報告する。

平成30年10月29日

議 長 溝 口 芙 美 雄

記

- | | | | | |
|---|---|---|--------------------|---------------|
| 1 | 期 | 日 | 平成30年10月25日～10月26日 | |
| 2 | 場 | 所 | 中華人民共和国(北京市) | |
| 3 | 出 | 席 | 者 | 長崎県議会議長、長崎県知事 |

4 概 要

中国人民对外友好協会及び中国日本友好協会からの招待により、中日平和友好条約締結 40 周年記念レセプションに出席した。